

6. 事業内容	■全体 本事業では、都市部と農村・遠隔地で格差が広がる保健医療サービスの課題に対して、女性健康センター（Women's Health Center:WHC）を拠点に活動を展開し、ベトナムの妊産婦ケアの質を改善し女性の生涯にわたるリプロダクティブヘルス（RH）向上に寄与するモデルづくりを行う。 本事業内容は、「持続可能な開発目標（SDGs）」の以下の目標とターゲットに該当する。 目標 3「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」 3.7「2030 年までに、家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関する保健（RH）サービスをすべての人々が利用できるようにする」 3.8「すべての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセスおよび安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する」 目標 5「ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う」 5.6「国際人口・開発会議（ICPD）の行動計画及び北京行動綱領、並びにこれらの検証会議の成果文書に従い、性と生殖に関する健康及び権利（SRHR）への普遍的アクセスを確保する」 なお、本事業における対象地域の助産師能力の向上により、ターゲット 3.1（妊産婦の死亡の削減）、3.2（新生児及び 5 歳未満児の死亡の削減と予防可能な死亡の根絶）にも間接的に貢献することが期待できる。 ■第 3 年次の目標 プロジェクト活動の拠点である WHC において、女性にやさしく安全で安心できる正常分娩介助、思春期から更年期ケアを含む女性の生涯を通じた「包括的 RH サービス」の提供を継続し、持続発展に向けた WHC 運営とその安定化を図る。同時に、WHC の研修施設を活用した農村・遠隔地で働く助産師の能力の向上を目指した研修を実施し、質のよい RH サービスが農村・遠隔地で提供できる基礎をつくる。WHC スタッフと郡病院の助産師が 連携しコミュニケーションヘルスセンター（CHC、村の保健所）の助産師と共同でアウトリーチ・サービスを実施することで、指導する側と指導される側のスタッフ両方の能力強化を行い、農村・遠隔地に質の良い包括的 RH サービスを届ける活動の継続的实施を目指す。 また、プロジェクトで実施した研修や活動から得られる成果や経験をまとめた「女性の生涯を通じた健康を守る包括的 RH サービス」モデル普及のためのガイドを作成し助産師会の全国ネットワークを通して全国への普及を図る。ガイドの作成にあたっては、保健省母子保健局のアドバイスを得る。さらに、ベトナム助産師会本部・支部によるプロジェクト終了後に実施するアクションプランの作成を計画しており、プロジェクトの成果・経験に基づく包括的 RH サービスのモデル普及と持続発展を目指す。 ■第 3 年次の活動 1. 女性の生涯にわたる健康を向上するための包括的 RH ケアサービスの提供 1) <u>WHC での包括的 RH サービスの提供</u> (1) 包括的 RH サービスの提供：
----------------	---

WHCにおいて、女性が生涯を通して健康に過ごすための包括的 RH サービスの提供を継続していく。

(2) WHC スタッフへの継続研修の実施：

質のよい RH サービスの提供の一環として、産後のニーズが高い乳房ケアの技術向上指導の継続研修を実施する。さらに、1 年次に実施した分娩ケア研修の実習先病院監督者の助言に基づいて、妊娠時のリスク判断、周産期における合併症や緊急時の診断技術の向上のための継続研修を、WHC スタッフ 5 名を対象に実施する。

2) 質のよい包括的 RH サービス提供モデルの構築と普及

(1) 『女性の生涯にわたる健康のための質のよい包括的 RH サービス』ガイドの作成：

本事業では、プロジェクトでの経験をまとめたガイドを作成し、ベトナム各地にひろがるベトナム助産師会ネットワークを通して配付し普及を目指す。第 2 年次に作成する案をもとに、関係者からのコメントを反映して改訂し、保健省母子保健局等、関係機関からの助言も得て最終版を作成する。第 3 年次には、ガイド作成の検討会などを通して、「女性の生涯を通じた健康を守る包括的 RH サービス」の考え方について、保健省の理解を深め、RH サービスの方針にも活かされるよう働きかける。

(2) 年次会合・経験共有会合の開催：

VAM の全国支部の委員（助産師）と関係者を招いた 3 年次報告会を実施し、プロジェクト終了後の持続発展のためのアクションプランを作成する。また、3 年間のプロジェクト活動の成果の報告と共有、サービス提供モデルの普及のために、中央保健省、フエ省・クワンチ省・クワンビン省保健局、フエ人民委員会、フエ中央病院、VAM の全国の支部の執行委員等の関係機関の参加による経験普及会合を開催する。

2. 助産師能力の向上と、プロジェクト地域内の農村・遠隔地の女性の RH に関する知識の向上

1) 助産師能力の向上

(1) 指導者研修の実施：

省・郡病院に勤務する助産師計 20 名を対象に指導者研修を実施し、農村・遠隔地のコミュニケーションヘルスセンター（CHC、村の保健所）に勤務する助産師の指導的役割を担う人材を養成する。研修の講師として、ベトナム保健省および実施団体のジョイセフと日本助産師会が専門家を派遣し、ベトナム保健省の重点課題である助産技術・早期新生児ケアに加え、女性の人権と尊厳に配慮した妊産婦ケアの実現に向けて、患者に寄り添うサービス（クライアントフレンドリーサービス）の推進、サービス環境の改善の手法としての 5S（整理、整頓、清掃、清潔、習慣）を研修に盛り込む。

また、指導者研修の参加者は、勤務する病院施設内での保健サービスの質の改善を推進する役目を担うことも期待されている。第 3 年次には、現場での教育・指導の充実やプロジェクト終了後の持続発展を目指し、相互のネットワークを強化し学びを促すため、郡レベル指導者等を対象に、各郡の実施報告と経験共有のための四半期会合を実施する。

(2) 農村・遠隔地の CHC で勤務する助産師の研修の実施：

フエ省 8 郡、クアンチ省 5 郡、クアンビン省 2 郡、合計 15 郡の農村・

	遠隔地の CHC で働く助産師を対象に、各コース 20 人、計 5 コースの助産師研修を実施し、計 100 名の能力強化を行う。上記（１）指導者研修で育成された指導者が研修講師となり、知識・技術の向上を通して、CHC におけるサービスの向上を図る。また、郡病院に勤務する指導者レベル助産師が、CHC 助産師を集めて郡病院で行われる月例会議において継続的な教育を実施する。 ２） <u>アウトリーチ・サービス（出張クリニック）の提供</u> （１） <u>地域へのアウトリーチ・サービスの継続</u> １・２ 年次より継続し、WHC を拠点に農村・遠隔地でのアウトリーチ・サービスを実施し、ポータブル超音波診断装置を利用し通常 CHC では行われない検査などを受診する機会を女性たちに提供する。 （２） <u>地域での啓発活動の実施</u> 住民の健康の知識や RH 知識の向上のため、家族計画や母子の健康についての健康教育を実施する。 ３） <u>女性の RH 知識に関する聞き取り調査の実施</u> 第 1 年次に聞き取り調査を実施したフエ省 8 郡、クワンチ省 2 郡、合計 10 郡から各 2 コミューン、計 20 カ所の農村・遠隔地のコミュニティで、各 15 人前後、計約 300 人を対象にアンケート調査を行い、RH 分野の知識について調査を行う。この結果を、第 1 年次の聞き取り調査の結果と比較し、女性の RH 知識の変化を調べる。
７．これまでの成果、課題・問題点、対応策など	①これまでの事業における成果（実施した事業内容とその具体的成果） プロジェクトの活動はこれまでの１年半の期間全体を通してほぼ順調に進捗している。正常分娩サービスの開始は、健康保険適用申請の手続きの遅れに伴い、予定より遅れているが、「WHC における女性の生涯を通じた包括的 RH サービスを提供し、WHC を拠点とした助産師研修、アウトリーチ・サービスの実施により、質のよい RH サービスが農村・遠隔地で提供できる」態勢づくりに全力を注ぎ、目標達成を見込んでいる。具体的には以下の各項目で挙げた目標ごとにこれまでの成果を示す。 １） 女性の生涯にわたる健康を向上するための包括的 RH ケアサービスの提供 １ 年次には女性健康センターの建設と設備を完了、２ 年次前期には液状廃棄物処理施設と救急車両の設置を完了し、WHC において包括的 RH サービスを提供するための基盤を整備した。現在、正常分娩以外のすべてのサービス、すなわち、家族計画サービス、妊産婦ケア、婦人科健診、乳がん検診と予防指導、子宮頸がん検診、各種血液検査、更年期ケア、思春期 RH ケア、健康・栄養相談等、各種カウンセリングが提供されている。利用者からは好評を得ており、省内外からの視察訪問も多く、WHC の提供する RH サービスに対する関心は高い。正常分娩と関連サービスに必要な保険適用の認可については、プロジェクト開始後に、プロジェクト計画当初は必要とされなかった新たな規定についてフエ省保健局から指導があり、対応が必要となったために手続きが遅れている。本申請時点で、必要な対応は終了しており、保険適用の申請・認可のためのプロセスも進んでいる。 ２） WHC スタッフによる遠隔地への定期的なアウトリーチ・サービスの提供 農村・遠隔地へのアウトリーチ・サービスを２ 年次の上半期には２ 村で

実施し、各回平均 124 人の女性に、RH サービスを届けることができた。サービスを受けた女性からは、一人ひとりに優しく質の高い RH サービスに対して満足度の高いコメントが聞かれている。サービス提供には、WHC 保健スタッフ、郡レベル助産師（ベトナム助産師会メンバー）が CHC の助産師と連携して行うことで、CHC 助産師の能力強化も図ることができた。1 回 2 村を対象に、2 年次終了時までには、10 回のサービスの実施を予定している。

3) プロジェクト地域内の遠隔地域で働く助産師の知識と技術の向上

第 1 年次、2 年次の 2 年間で、研修の講師となる資格を持つ人材計 39 名を対象に指導者研修を実施し、指導技術ならびに専門知識、技術の向上を図った。第 2 年次以降の研修は、すべて、第 1 年次に建設された WHC の研修施設で実施している。

この指導者研修の受講者が講師となり、農村・遠隔地の CHC で勤務する助産師対象の研修を実施した。この CHC 助産師研修参加者の意欲は高く、知識・技術には目覚ましい向上が見られた。第 2 年次は 9 月時点で、2 回研修を実施し、計 40 人が受講した。保健省の基準にもとづいて実施したプリテスト、ポストテスト結果の比較では、正解率は第 1 回目の参加者では研修前平均 44% から、研修終了後には平均 92% へ、第 2 回目の参加者では研修前平均 34% から研修終了後には平均 94% へと大きな変化が見られた。プリテストでは 40 人全員が合格ラインに届かなかったが、研修終了後は受講者全員が合格ラインに達することができた。保健局からは、研修受講後の助産師の良好な変化を指摘し、本プロジェクトによる研修に対する期待が表明されている。

4) プロジェクト地域内の遠隔地域の女性の RH に関する知識の向上

農村遠隔地でのアウトリーチ・サービス時、各村の CHC において、住民の健康の知識や RH 知識の向上のための啓発活動を第 2 年次は、9 月までに 2 回実施し、計 94 名の女性が参加した。内容は、事前に聞き取りした村の女性のニーズに沿って、妊産婦ケア、母子の健康と栄養、家族計画等をテーマとしたもので、村の女性からは積極的な発言や質問が出され、啓発活動後、同日行われたアウトリーチ・サービスでの個人カウンセリングや検査などへの参加につながった。

②これまでの事業を通じての課題・問題点

保険適用認可施設とするためには、総合診療所（General Clinic）としての申請が必須であるという新たな指導が、プロジェクト 2 年次に入った 2016 年 5 月にフエ省保健局からあり、追加施設の設置を要請された。正常分娩サービスへの保険の適用は多くの利用者にとって重要であり、当初の目的達成のためにも必須であることから、正常分娩サービスの開始は、保険適用後になり、計画よりも遅れることとなった。

③上記②に対する今後の対応策

フエ省保健局とベトナム助産師会を含めて協議を重ね、保険適用認可の条件を満たすため、本事業の現地カウンターパートであるベトナム助産師会の自助努力によって WHC 敷地内へ追加施設（WHC 別館：レントゲン設備など）を設置することになった。建設は順調に進んでおり、10 月初旬までに完成する見込みである。認可が下り次第、速やかに正常分娩サービスができるように準備を整えている。同時に産後ケア、乳房ケアを開始する予定である。これにより予定したすべての RH サービスが提供される。また、連携病院と緊

	急時の搬送に関する合意文書を交わしており、連携部署との支援・搬送体制の確認と強化を継続的に図っていく。センターのサービスを周知する活動はすでに開始しており、認可とともに、正常分娩サービスの利用につながるよう準備を進めている。 ④「持続可能な開発目標（SDGs）」の該当目標からの視点 WHC を拠点とした女性の生涯を通じた質のよい包括的な RH サービスの提供、アウトリーチ・サービスや健康教育の提供、研修による助産師の能力向上を通じた農村・遠隔地の女性や住民への RH サービスの提供により、プロジェクト対象地域の女性が RH サービスを利用し、RH に関する情報や知識にアクセスでき、自身の知識に基づいた決定を行うことができるように支援を行うことで、SDGs 目標 3（健康的な生活の確保と福祉の促進：ターゲット 3.7 すべての人々が RH サービスを享受できる）、および、目標 5（ジェンダーの平等と女性/女児の能力強化：ターゲット 5.6 SRHR への普遍的なアクセス）の達成に貢献する。 また、WHC が健康保険適用施設として機能していくことは、すべての人々が適切で質のよい基本的な保健サービスを、支払い可能な費用で受けられるという UHC の理念や、ベトナム政府が推進する国民皆保険を通じた UHC の達成（SDGs3.8）に即している。
8. 期待される成果と成果を測る指標	①第3年次における具体的目標（成果）と成果を測る指標 <u>成果 1. 女性の生涯にわたる健康を向上するための包括的 RH サービスを継続して提供し、WHC の持続発展に向けた運営とその安定化を図る（モニタリング、活動報告書、サービスの記録によって確認）</u> 1.1 WHC の正常分娩件数が、3 年次終了時に計 200 件以上となる 1.2 WHC で出産した女性の 80%以上が、産後健診を受ける 1.3 連携病院との支援体制・搬送体制が機能している 1.4 WHC で更年期ケアサービスを受けた女性の数が毎年 20%の増加を示す 1.5 乳房ケアが開始される <u>成果 2. 女性健康センタースタッフによる遠隔地への定期的なアウトリーチ・サービスが提供される（モニタリングと活動報告書によって確認）</u> 2.1 アウトリーチ・サービスが、10 回以上実施される 2.2 毎回 100 人以上を対象とするアウトリーチ・サービスが実施される <u>成果 3. プロジェクト対象の遠隔地域で働く助産師の知識と技術が向上する</u> 3.1 プロジェクトが対象とする遠隔地のコミュンで働く助産師の 90%以上がプロジェクトの研修に参加する 3.2 研修後、90%以上の助産師が保健省の基準によるポストテストに合格する（研修で実施するプリテストとポストテストの結果を比較して確認） <u>成果 4. プロジェクト対象の遠隔地域の女性の RH に関する知識が向上する（モニタリングと活動報告書によって確認）</u> 4.1 遠隔地の女性への啓発健康教育が、5 回以上実施される 4.2 1 回 100 人以上に対して啓発健康教育が実施される 4.3 聞き取り調査（エンドライン）で、調査対象の基本的な知識を持つ女性の割合が 30%増となる（または 80%が RH に関する基本的な知識を持つ） ②事業終了後の持続性の確保

活動拠点である WHC では、第 2 年次より VAM により保健スタッフが配置され、プロジェクトの活動やサービスの提供に関して主体としての役割を果たしている。プロジェクト終了後には VAM が運営を担っていくため、3 年次は、持続発展計画を VAM と共同で策定し、一層の集客と安定した運営を図っていく。思春期から更年期までの女性の生涯を通じた「包括的 RH サービス」提供のモデルとして認知されるためにも、WHC 施設全体において女性にやさしく安全で安心して出産できる環境を整え、人権に配慮したクライアントに寄り添う質のよいサービスの提供を継続する。また、保健省・省保健局との定期的な情報交換・連携による、政府ガイドラインにそったサービスの提供を前提に、新たなニーズへの対応を積極的に行っていく体制を整える。

WHC での助産師研修の実施に関しては、事業終了後も保健省・省保健局との連携強化をはかり、公的医療機関の助産師に対する指導者研修、助産師研修を継続していく。

WHC スタッフによるアウトリーチ・サービスは、農村・遠隔地にサービスを届けるという VAM の理念に繋がる活動であり、プロジェクト終了後も VAM の活動の一環として継続する。

持続発展性への準備の一環として、プロジェクトの最終年である第 3 年次には、活動全体を通して「女性の生涯を通じた健康を守る包括的 RH サービス」の考え方が、保健省の RH サービスの方針に取り入れられるよう働きかけていく。さらに、全国にネットワークを持つ VAM の支部の活動を通じた、包括的 RH サービスの提供モデルの継承・拡大につなげるため、(1)ベトナム助産師会本部と支部によるプロジェクト終了後に実施するアクションプランの作成、(2)ベトナム助産師会各支部の執行メンバーを通じた各省公的保健施設への包括的 RH サービス実施の提案、を計画している。

申請団体は、事業終了後もベトナム保健省、ベトナム助産師会、日本助産師会等の関係機関との連携協力体制を維持し、活動の継続を図るとともに、モニタリングを実施していく。